

布勢小学校 学校だより

東八代川

●学校スローガン
笑顔いっぱい 夢ふくらむ布勢小学校

「いっばいっば」「元気に登校 笑顔で下校」

令和6年10月号 文責 校長 長谷川

699-1433 島根県仁多郡奥出雲町八代220 ☎0854-54-9020 mail:fusetcl@town.okuizumo.shimane.jp

QRコード

**みんな地球人！
みんなで手をつなぎ合おう！**



でこられた李さんも、来日されて間もない頃は独特の方言（出雲弁）や敬語の言い回しがとても難しく苦労されたそうです。そんな中、地域の方から温かな声をかけられ、何よりも心強く思われるとともに、これまで感じられていた「心の壁」もなくなってきたそうです。二つの壁がなくなればだれにとってもさらに住みやすい場所になるとも話されました。公共の場などでは、難解な漢字表記からひらがなを使って表示されているところも増えてきているようです。壁が少しずつ低くなるように、これから自分ができることを実践していけたら、と考えるきっかけを与えていただいた講演会でした。

人権教育講演会

今年度の人権教育講演会には雲南市在住で韓国ご出身の李さん、芝さんご夫妻をお招きし、韓国の文化、多文化共生の社会についてお話を聞きました。ご夫妻はクイズも交え子どもたちにも分かりやすくお話をしていただきました。奥出雲町を含め、島根県内にも外国人の方が多数在住されています。来日した際に直面されることが多いのが、「言葉の壁」と「心の壁」です。日本語を学ん

韓国ってどんな国？ 韓国クイズ

Q 韓国では、キムチを毎日食べるのでしょうか？

A ◎多くの家庭で毎食キムチが食べられます。キムチ専用の冷蔵庫もあり、李さんのご実家には3台のキムチ冷蔵庫が使われているそうです。

Q 韓国にもジャンケンがありますか？

A 日本のジャンケンと同じような「カウイ・パウイ・ポ」「カウイ（はさみ）パウイ（岩）ポ（紙・布）」があります。コンギというお手玉のような遊びもありますよ。

Q 韓国の首都のソウルには、どれくらい人が住んでいますか？

A 約940万人です。東京23区と同じくらいの人口です。ソウルタワーや昌徳宮などがあり、観光客も多いです。

Q 韓国の子どもたちはどんな勉強をしていますか？

A 6年生の場合、日本と同じようにだいたい6時間目までであり、英語や総合の勉強もあります。パソコン、英会話など課外活動も盛んです。

人権集会 お互いを知り合う「みんな仲間だよ。」



自分やまわりの人を大切にし、布勢小の仲間とさらに仲よくなることをねらいとした人権集会を行いました。担当教員から、「人権や人権を守るために社会が取り組んでいること」について問題提起をした後、縦割り班ごとにわかれ、「さいころトーク」をしました。トークの内容は、「好きな遊び」「やってみたいこと」「大切なもの」などです。同じ班の仲間でも、今まで知らなかったことも多く、お互いを理解し合いながら、とても温かな雰囲気の中で語り合うことができました。

人権・同和教育に視点を当てた授業公開

人権・同和教育に視点を当てた授業を全学級で公開しました。日々の教室では、子どもたちは一人一人を大事に、相手を尊重しながら生活をしたり学習をしたりしています。今回公開した授業の中で、人権をテーマにしながら自分たちの学級や自分の考えを振り返ることで、人権感覚を磨き、差別のない社会の一員としての資質を育む小さな一歩になればと考えています。

人権を考える学び特集

人権標語

- ◆みんなともだち たのしいね（1年）
- ◆ともだちの ぼうるをとれて うれしいな（1年）
- ◆みんなで力をあわせて こまっている人をたすけたい（2年）
- ◆友だちと あいさつすると いい気持ち（3年）
- ◆つないだ手 そのぬくもりが やさしいね（4年）
- ◆差別をなくしてみんなが悲しまない世界をつくろう（4年）
- ◆あいさつは みんなをつなげる 合言葉（5年）
- ◆世界から 差別やいじめを なくそうよ（6年）



「ほかほかことばとちくちくことば」教室の中にあるちくちく言葉をなくし、みんなが喜ぶ温かい言葉を使うようにしていこうと、みんなで考え合いました。

「いっしょになってわらっちゃだめだ」動物の名前で呼ばれているAくんを友達と一緒に笑っているぼく。ぼくの気持ちを考えながら人権を大切にすることを学んでいきました。

親子読書



9月の授業公開日のプログラムの一つとして「親子読書」を行いました。家族で読書を楽しむこと、読書の大切さを保護者に伝え、児童の読書の習慣化について家庭と連携する契機とすることがねらいです。それぞれの家族ごとに、好きな場所を決めて読書に取り組みました。今回は、子どもがリクエストした本を保護者の方に読んでいただきました。小学生になると、家庭で読み聞かせをしていただく機会が少なくなってくるようですので、親子読書は、親子のふれあいの場となる貴重な時間になりました。

授業公開日の保護者の感想から(ほんの一部です)

- ◆日本国以外から来られた人のことだけでなく、町外、県外、初めて会う人、障がいのある人…。全ての人にやさしい社会になっていくといいなと感じました。
- ◆これから子どもたちは、もっと多くのいろいろな考えをもった人と出会います。そうした中で相手のことを想像できる、考えられる人になってほしいと思います。
- ◆親子読書では久しぶりに家族そろって本を読む、聞くことができ、「ああ、小さい頃はこうやってみんなで読んでいたなあ。大きくなったんだなあ。」とあたたかい気持ちになりました。

他校との交流すすむ

5年



サバニ

5年生が、仁多地域連合宿泊研修として1泊2日の研修を行いました。場所は出雲市の「サン・レイク」です。「出会い・交流・仲間づくり」がテーマの連合の研修は平成24年度から行われているものです。仲間づくりゲーム、サバニ（沖縄伝統のこぎ船）、ファイヤーの集い、野外炊飯、ユニバーサルスポーツなどが研修メニューでした。本校の子どもたちの多くが、積極的に人と関わり、友達づくりをするというめあてをもって臨んだ2日間でしたが、他校の人にも勇気を出して声をかけることですぐに打ち解け、友達づくりができたようです。研とをこれからの学校生活でも生かしてほしいと思います。

- ジニア
- ジニア

■ジニア は、それぞれの学年で2回目の交流学习を行いました。1回目は緊張した表情の子どもたちもリラックスして交流会に臨むことができ、他校の子どもたちとの活動を楽しむことができました。今年度の交流学习は今回で終了しますが、来年度もさらに交流をすすめていく予定です。



ロープワーク



野外炊飯



ファイヤーの集い

布勢っていいなあ

2年生 町たんけんたい



奥出雲神代神楽



公民館でいただいた鶴



オリーブさん



田中商会さん

2年生は生活の町たんけんとして、布勢のまち（多根自然博物館、布勢公民館、田中商会など）やカルチャープラザに多図書室を訪ねてまわりました。

最終回のたんけん場所は上三所の「郷土芸能施設」と馬馳の「オリーブ」でした。郷土芸能施設では、奥出雲神代神楽社中の石原さん、恩田さんから神楽のことについてお話を聞いたり、神楽を舞っていただいたりしました。子どもたちは、面をつけたり奏楽に挑戦したりしながら神楽に親しみました。また、「オリーブ」では包み焼きピザをお昼ご飯としていただき、ソフトクリーム作りも体験させていただきました。いろいろな場所で布勢の皆さんにお世話になり、このまちのよさ、人の温かさなどを実感することのできた町たんけんになりました。

6年ぶりに開催 布勢地区町民運動会



第70回布勢地区町民体育大会が開催されました。感染症予防や荒天のため長らく開催できませんでしたが、今回は実に6年ぶりの開催であり、小学生として参加するのは、6年生以外初めてとなります。子どもたちの出場種目は少なかったですが、地域の皆さんの先頭に立って応援する姿もみられ、とても微笑ましかったです。これまで布勢で愛され長い歴史を積んだ運動会が、この先も受け継がれ、80回、100回と続けられることを願いたいと思います。

ありがとうございました



大仁地区更生保護女性会から図書費をご寄付いただきました。

全校児童を代表して、わくわく情報委員会の子どもたちが受け取りました。読書を通して、心豊かな子どもに育ってほしいという願いのもとで贈られたものです。書籍購入費として有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

10月.....

- 25日(金) わんぱくのみびりデー
- 27日(日) 布勢の郷文化祭(布勢小会場) 5年生が発表します。お米の販売もあります
- 30日(水) ストリーテリング
- 31日(木) 委員会

11月.....

- 3日(日) 文化の日 八代子供相撲大会
- 4日(月) 振替休日
- 5日(火) どきどき読書
- 7日(木) PTA 役員選考
- 8日(金) 全校13時下校 (中国小学校特別活動研究大会参加のため)
- 12日(火) 授業公開日
- 2年・3年・6年 学習発表会
- 1年・4年・5年 授業公開
- 18日(月) 心せこ元氣週間(～24日)
- 21日(木) 全校集会
- 22日(金) わんぱくのみびりデー



行事予定



ジャンプ!

秋色 子どもたちが育てた秋の花



■ジニア



■サルビア



■トレニア



■ヘリクリサム



■キャンディーポップ